

みづほ

2009 4 平成21年

発行／瑞穂町 編集／秘書広報課 毎月1回1日発行
〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
TEL 042 (557) 0501 (代表)
ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

人口と世帯 人口 33,731人 (8人増)
男 17,239人 (6人増)
女 16,492人 (2人増)
3月1日現在 世帯 13,487 (14世帯増)
()は前月比 外国人登録数 579人

No.567



決まってるね！ 小さな消防士さん

2月28日、福生消防署瑞穂出張所と周辺道路で消防ふれあい広場が開催されました。

消防服を身に付けて、真似したポーズがとてもかわいく決まっていました。

火の元にはくれぐれも気を付けましょう。

おもな内容

平成21年度 施政方針	2・3
平成21年度 まちの予算	4・5
みづほ伝言板	10年後の町の将来像をつくりましょう 第31回さくらまつり、瑞穂町長選挙 箱根ヶ崎駅時刻表、福社会館の休館案内ほか
インフォメーション	住宅改修等補助のご案内、東京都シルバーバス（新規）発行のお知らせほか
福祉	各福祉手当等の振り込みのご案内 高齢者のみ世帯・障がい者世帯の方へ 徘徊高齢者探索サービス事業ほか
教育委員会からのお知らせ	みづほ青少年小笠原探検隊参加者募集 総合文化祭参加団体・参加者募集ほか
	21~24

安心感のある保健・医療・福祉づくりとして、老朽化した福祉社会館を改修し、バリアフリーに配慮した使いやすい施設とします。心身障害者授産施設を新たに建設し、授産事業を充実させ、利用者の就労機会



▲耐震補強工事が終了した一小

**自らを高め
互いを認め合い
まちづくり**

「広報みずほ」1月号の年頭のあいさつでも申し上げましたが、将来の町の骨格をなす都市基盤整備や、社会福祉分野への投資としての福祉社会館改修および授産施設整備、教育環境の向上施策としています。

企業の3月期決算は、巨額の赤字・損失が計上されると報道され、急激な減産体制の動きと雇用調整が始まっています。予断を許さない状況です。国の地方財政対策では、景気後退等に伴い、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が急激に落ち込む一方、社会保障関連経費の自然増や公債費が高い水準で推移し、地方財政は、財源不足が大幅に拡大するものと見込んでいます。

さて、瑞穂町の平成21年度予算ですが、歳入では、経済情勢による町税や国の交付金の減少、特別地方交付税の減額などの影響がでるものと予測しています。歳出では、先行き不透明なこのようない時こそ、最も身近な地方政府である町が、町民の安心できる政策を推し進める

企業の3月期決算は、巨額の赤字・損失が計上されると報道され、急激な減産体制の動きと雇用調整が始まっています。予断を許さない状況です。国の地方財政対策では、景気後退等に伴い、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が急激に落ち込む一方、社会保障関連経費の自然増や公債費が高い水準で推移し、地方財政は、財源不足が大幅に拡大するものと見込んでいます。

一 経済情勢が悪化する中

必要があると考えています。

「広報みずほ」1月号の年頭のあいさつでも申し上げましたが、将来の町の骨格をなす都市基盤整備や、社会福祉分野への投資としての福祉社会館改修および授産施設整備、教育環境の向上施策としています。

施政方針

平成21年第1回瑞穂町議会定例会で、石塚町長から21年度の施政方針が発表されました。そのあら

めます。定に着手します。また、狭山池についても、平成20年度に引き続き、堆積物の浚渫を行い、水質の改善と水深の確保に努めます。

安全でいきいきとした生活環境づくりとして、長岡地域施設の実施設計に着手します。また、「ミニティ振興計画に基づいて、地域の活性化を図ります。スポーツ・レクリエーションでは、東京

活力ある生活を支えるまちづくり



▲巣穴に餌を運ぶカワセミの親鳥

安全でいきいきとした生活環境づくりとして、長岡地域施設の実施設計に着手します。また、「ミニティ振興計画

に基づいて、地域の活性化を図ります。スポーツ・レクリエーションでは、東京

市に利用される施設となっています。企業信用保証料補助および住宅改修等の推進、学力向上施策および学校指導課の設置をはじめとした学校教育関連事業など、さまざまな分野で町民の福祉向上に向けた施策を展開します。

次に、長期総合計画の施策体系に添つて、重点施策を申し上げます。

良好な居住空間づくりとして、カワセミがすむほど、良好な環境となつた狭山池とともに、周辺部について、整備計画の策

地を公園用地として購入します。みずほ工場パークは、町内外から多くの方に利用される施設となっています。循環型社会形成の拠点としての機能を高めるため、ビオトープ等を整備して、自然環境を復元し、さらに町民等に親しまれる公園とします。

快適で便利な都市基盤づくりでは、町が実施する箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業をはじめ、都市計画道路の福3・5・24号御伊勢山通り線の整備事業を引き続き進めます。

また、殿ヶ谷土地区画整理事業を支援するとともに、栗原土地区画整理組合設立準備会が行う事業認可に向け、関係機関との調整を進めます。

次に公共交通ですが、交通不便地域における支援・指導機能を充実します。また、新たに島しょの学校との交流を進めます。

青少年の健全育成では、子どもに感動的に行なうことを目的とした、次世代育成支援行動計画を見直します。また、妊娠婦健診への費用助成について、現行の5回から14回に回数を増やすとともに、助産院および里帰り出産に対する助成も実施し、妊娠および出産に係る町民の経済的負担を軽減します。

義務教育就学児医療費助成制度については、現行の助成割合を見直し、町民の費用負担を大幅に軽減します。

個性とやしさを育む教育・文化づくりでは、町が目指す教育の在り方や方向性を明確に示し、学校・家庭・地域社会が連携して教育活動に取り組み、教育を充実させるための教育基本計画を策定します。

安全で快適な教育環境を整備するため、耐震補強工事を第二小学校に実施します。

現行の第3次長期総合計画が、平成22年度末をもって計画期間が終了しますので、平成23年度から32年度までの10年間を計画期間とする第4次長期総合計画を策定するため、審議会を設置することもに町民意識調査を実施し、町民の意向を把握します。

行政評価については、客観的に各事業



▲昨年の残堀川ウォーキング

化するための研究を開始します。

箱根ヶ崎駅東口広場については、東京都による整備計画にあわせて、バスペイや歩行者空間等の計画を作成します。

計画の推進

現行の第3次長期総合計画が、平成22

年度末をもって計画期間が終了しますので、平成23年度から32年度までの10年間

を計画期間とする第4次長期総合計画を策定するため、審議会を設置することもに町民意識調査を実施し、町民の意向を把握します。

全職員が、常に町民福祉のさらなる向上、効率的かつ効果的な施策展開を念頭に置き、銳意努力しますので、町民の皆様の絶大なるご支援をお願い申しあげます。